

観光地域づくりセミナーの実施報告

【実施概要】

■開催趣旨

地域全体での「観光地域」づくり推進のきっかけとするため、市民や観光関係者等が当市の魅力を再確認、学習するとともに、本事業を契機に参加者同士の「横の繋がり」が築かれ、自らが「観光の担い手」となって主体的に参画する人の輪を広げることを目的とし、市内観光資源の視察と、視察をもととする当市観光資源の魅力再発見ワークショップ（以下「WS」とする）を一連のプログラムとしたセミナーを実施。

■日時

○視察：令和元年10月10日（木）8時30分～17時

○ワークショップ：令和元年10月18日（金）17時30分～20時

■参加人数：22人

- － 観光関係事業者（宿泊、施設、土産物、交通等）
- － 市民活動団体（まちづくり、文化保存等）
- － 観光協会、行政
- － 一般市民



市内観光資源の視察

<概要>

- ・参加者自らが「市内を個人旅行する」という視点に立って視察を実施。
- ・その際、受入施設から個人旅行を想定した通常通りの接客や対応を受けることでの「気づき」や、施設担当者からの説明を聞きながらその施設の“褒めポイント”を見つけることを意識した視察を行った。（事前に視察時の「ポイント」を提示） ※視察先は後述。



ワークショップ

<概要>

- ・各グループに視察をした施設を割り振り、グループ内でその施設の“褒めポイント”を共有しながら増やしていくとともに、その魅力はどんな人に発信したら効果的かをマーケットセグメントの観点からターゲットを絞り、その人たちが来たいと思ってもらえるような短いセンテンスを考え、最後に発表しあうWSを行った。 ※WSの構成は後述。



市内観光資源の視察

- 視察先は、高田エリアを中心として、高田世界館、高田小町、旧今井染物屋、寺町座禅体験（久昌寺）、百年料亭宇喜世、岩の原葡萄園、上越あるるん村、春日山城跡の8か所。
- ランチは、高田駅周辺で自由食とした。その際、インターネットで調べたり、道行く人に聞いてみたりしながらお店を探してもらうとともに、食べたメニューや選んだ理由なども意識してもらった。



▲高田世界館の映写室を見学。



▲高田小町、旧今井染物屋などの町家の歴史をガイドから説明を聞きながら見学。



▲座禅をしながら日々の生活を見つめなおす機会に。中にはきょうさくをいただく参加者も。



▲百年料亭の歴史ある建物を仲居さんから説明。



▲石蔵や雪室の見学後、試飲も。



▲様々な種類のお米が摺りたてで購入でき、興味津々。



▲おもてなし武将隊から春日山の“豆知識”を伝授。

ワークショップ

- グループワーク①では、グループ毎に担当した施設の“褒めポイント”を共有しながら増やしていき、その後全体へ発表した。
- 挙げられた“褒めポイント”をやみくもにいろいろな人に伝えても伝わりにくいことから、グループワーク②では、マーケットセグメントの観点で、「旅行の種別」「同行者」「性別」「年齢・ライフステージ」「嗜好」の5つの要素からターゲットを絞ったうえで、そのターゲットにしっかりと伝わるような施設の魅力を“短いセンテンス”で考え、その後全体へ発表した。

■構成

- ① 自己紹介タイム
- ② オリエンテーション（ペアワーク）
 - － あなたが旅行に行った時に最も楽しみにしていること
 - － あなたは旅行に行く時、誰と何人で行くことが多いか
 - － 今回の視察でランチをどうしたか
- ③ グループワーク① 視察した施設を振り返ってみましょう
 - － その施設の“魅力”“価値”とは何でしょう？、“無いモノねだり”ではなく、“あるモノ探し”の視点で・・・
- ④ グループワーク② その施設はどんな人（マーケットセグメント）に“ウケそう”ですか？ また、その施設の魅力をその人にどう伝えますか？



■各グループの発表内容（一例）

施設名	セグメント	センテンス
寺町座禅体験	20代社会人で体験好きの女性が友人と一緒に	座禅体験で自分を見つめなおしてみませんか
百年料亭宇喜世	30代以上の歴史・文化好きのカップル	2人で味わう百年料亭の食と風情
上越あるるん村	友人同士、男女問わず、20代社会人のグルメ好き	～雪室・雪下・米っしい～ 上越 食のテーマパーク あなたを待ってるうまいもん！

～参加者からの声～

- ・ 地元にいながら行ったことがなく、勉強になった。商談会などで上越市を説明するときの“引き出し”が増えた。
- ・ 初めて行ったところも多く、たくさんの魅力に気づかされた。ほかの人に「何もない」と言わないようにしたい。
- ・ 各施設で「説明」があったので、魅力が伝わってきた。（説明があるとないとでは大違い）
- ・ 良いところのほかに、「あれがあったらいい」「こうだったらいい」などの改善点も入れてほしかった。